

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年2月25日（木）

2 確認箇所

Dタンクエリア

3 確認項目

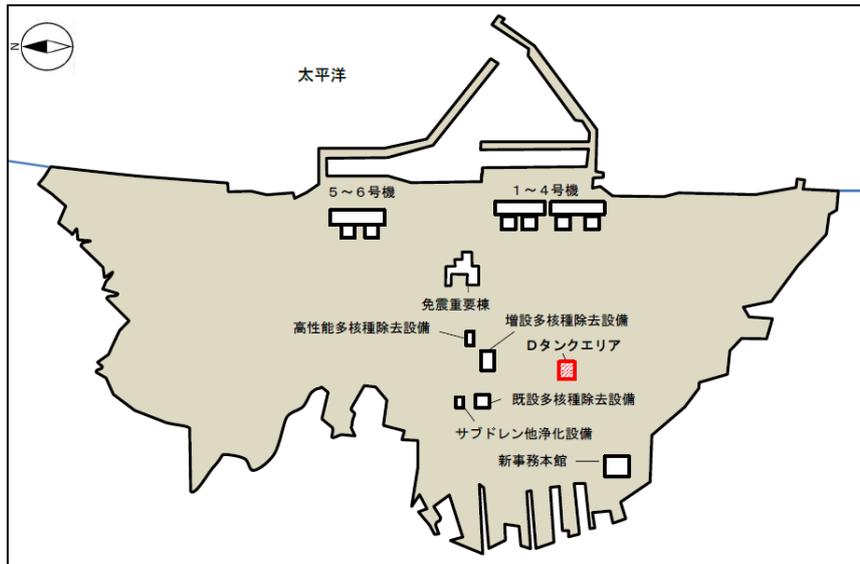
Dタンクエリアに設置されているタンクの位置ずれの状況

4 確認結果の概要

令和3年2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震（立地町震度6弱）により、一部のタンクに位置ずれが発生したことの報告が東京電力よりあったことから、Dタンクエリアに設置されているタンク※の状況を確認した。（図1、写真1）

- ・当該タンクエリアには、タンク容量が1000m³の溶接型タンクが41基設置されており、RO処理水、Sr処理水及び濃縮廃液が保管されている。本日はRO処理水が保管されている12基のタンクを確認したところ、複数のタンクで最大十数センチメートル程度の位置ずれを確認した。（写真2）
- ・位置ずれが大きかったタンクでは、入口配管に歪みが生じており、連結管にも位置ずれが生じていた。（写真3）
- ・なお、入口配管及び連結管の弁は、いずれも「全閉」とされ隔離措置が実施されていた。（写真4）
- ・東京電力によると、位置ずれが確認された連結管について、準備が整い次第交換を進めていくとのこと。
- ・また、Dタンクエリア内の複数箇所では雨樋が破損しており、近傍には注意書きと共に近日修理予定と表示されていた。（写真5）

※ 当該タンクなど比較的大型のタンクについては、耐震性確保の観点から、基礎に固定せず、平置きして一定以上の力が加わった際に動くことにより転倒や損傷を防ぐように設計されている。



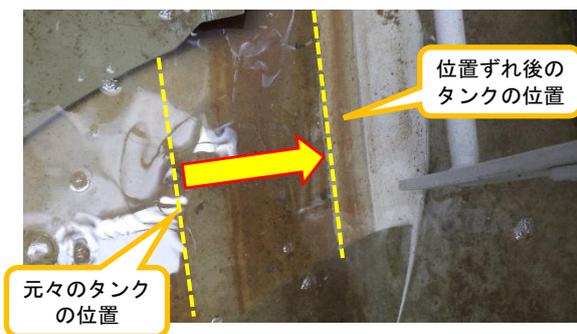
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
Dタンクエリア外観
(南側から撮影)



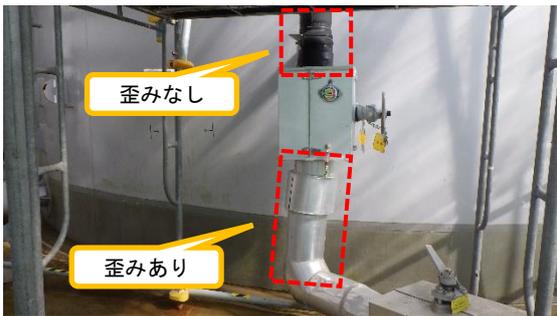
(写真2-1)
タンクの位置ずれの一例①
矢印がタンクの位置ずれ方向とずれ幅



(写真2-2)
位置ずれ箇所拡大
十数センチの位置ずれ



(写真 2 - 3)
タンクの位置ずれの一例②



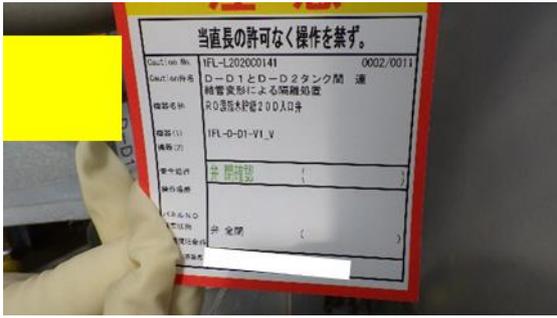
(写真 3 - 1)
入口配管の歪みの状況の一例



(写真 3 - 2)
連結管の位置ずれの状況の一例



(写真 3 - 3)
位置ずれ箇所拡大
受けパン及び土嚢が設置されていた。なお、漏えいは確認されなかった。



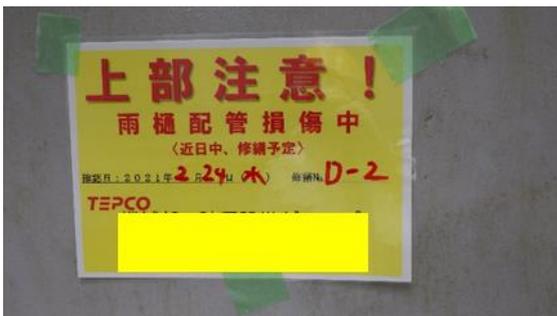
(写真4-1)
入口配管の入口弁全閉の表示



(写真4-2)
連結管の連結弁全閉の表示



(写真5-1)
雨樋破損状況の一例



(写真5-2)
雨樋破損に係る注意書き

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。